


# たが

こんにちは   
議会です!!



おじいちゃん がんばれ!

- ・ 決算委員会報告 ..... 2
- ・ 9月定例議会 ..... 4
- ・ 各常任委員会審議報告 ..... 5
- ・ 一般質問 9議員が問う ..... 7
- ・ がんばってます ..... 14

## 第123号

平成21年11月1日発行  
発行多賀町議会  
編集広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324  
〒522-0341 ☎ 0749 (48) 8126  
FAX 0749 (48) 0157  
有線 2 - 2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>  
E-mail [gikai@town.taga.lg.jp](mailto:gikai@town.taga.lg.jp)

# 景気の後退 厳しい財政 町税 18億1,500万円 昨年比1億8,300万円減

20年度  
決算を  
認定

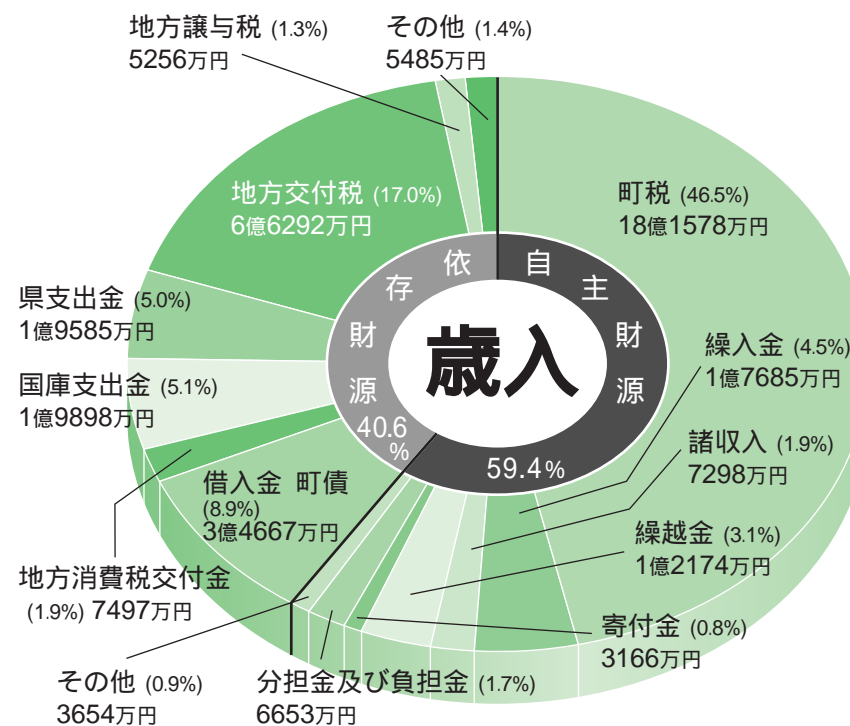
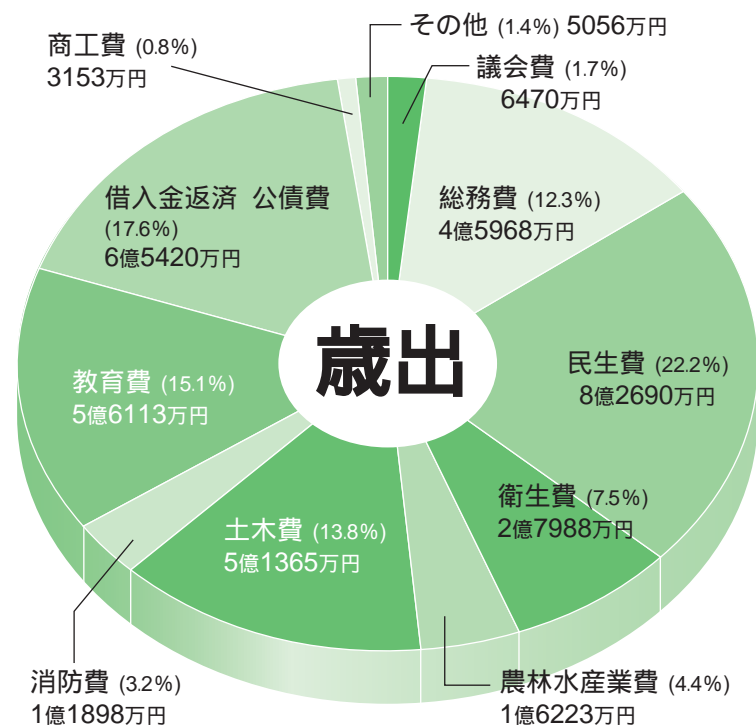
多賀小校舎 耐震工事完了

一般会計決算 39億888万円

使ったお金

入ったお金

特別会計	歳出額
国民健康保険	6億7577万円
老人保健事業	1億 14万円
介護保険事業	5億9763万円
後期高齢者医療事業	7315万円
育英事業	360万円
工業団地緑地管理事業	343万円
住宅団地造成事業	317万円
多賀財産区管理会	6万円
大滝財産区管理会	32万円
霊仙財産区管理会	6万円
下水道事業	5億 119万円
農業集落排水事業	3298万円
水道事業	4億 437万円
総合計	23億9587万円



9月10日、11日の両日、当委員会に付託された平成20年度一般会計決算の審議を行い、賛成多数（賛成9反対1）で原案のとおり認定すべきものとした。

基金（積立金） 20年度末現在高	
・一般会計（合計）	10億6759万円
減債基金	1億6038万円
財政調政基金	7億3202万円
その他5基金	1億7519万円
・特別会計（6会計）	6億 126万円
総合計	16億6885万円
町債（借入金） 20年度末現在高	
・一般会計（合計）	43億6088万円
一般単独事業	14億7644万円
臨時財政対策債	13億6997万円
その他12町債	15億1447万円
・特別会計（合計）	52億3395万円
下水道事業債	40億2313万円
その他の3町債	12億1082万円
総合計	95億9483万円

**問** そばの生産が県下一番であるが、  
**答** 多賀そば地域協議会と農協で、製粉、加工、販売と地産地消で協議を進めたい。

**問** ダム対策委員長が代わられ、議会にあいさつにみえた。要望事項につき、町長は地元での決定事項に協力し先頭に立ちリーダーシップを発揮願いたい。  
**答** 実情に適切した検討が必要と考えている。

**問** 勤労者体育センターは、他の施設と統合し経費削減を図るべきである。  
**答** 堅持し水没予定地住民の集団移転による生活再建を全面的に支持する。地域住民の意見を尊重し慎重に対応する。

**問** ダム建設促進方針を堅持し水没予定地住民の集団移転による生活再建を全面的に支持する。地域住民の意見を尊重し慎重に対応する。



元気あふれる 子どもたち

**問** 町の借入金残高が大きい。交付税算入はどれくらいされるか。  
**答** 借入金残高は95億9400万円であるが、約半分は交付税で返還される。

**問** 町財政の将来的な見通しはどうか。  
**答** 歳入に見合った歳出を基本とし、持続可能な財政基盤の確立を目指し

**問** 町財政の将来的な見通しはどうか。  
**答** 老人会補助金108万円の内、県費補助金は68万円。町老く連の補助金は110万円の内、県費補助金は51万円。

**問** 老人会の補助金のうち町・県の割合はどれくらいか。  
**答** 老人会補助金は108万円の内、町費補助金は68万円。町老く連の補助金は110万円の内、県費補助金は51万円。

**問** 町財政の将来的な見通しはどうか。  
**答** 老人会補助金108万円の内、県費補助金は68万円。町老く連の補助金は110万円の内、県費補助金は51万円。

**決算特別委員会報告**

**問** 町財政の将来的な見通しはどうか。  
**答** 老人会補助金108万円の内、県費補助金は68万円。町老く連の補助金は110万円の内、県費補助金は51万円。



# 9月定例議会

## 彦根市との定住自立圏形成協定 賛成多数で可決(賛成10、反対1)

9月定例議会は、9月8日から28日まで21日間の会期で開催した。提出議案は、平成20年度各会計決算認定14件、21年度各会計補正5件、同意2件、条例改正14件、契約3件、協定締結1件、すべて原案のとおり認定、同意、可決した。

### 反対討論(要旨)

山口久男議員  
定住自立圏構想は、町村を一人前の自治体として認めず、中心市の彦根市に暮しに必要な都市機能を集約するものである。稲枝駅改築、図書館建設等彦根市が中心となる事業が大きな比重を占めている。協定内容を精査する時間もなく、財政支援や事業内容も不確定要素が多く反対である。

### 賛成討論(要旨)

土田一善議員  
谷川利治議員  
本協定は、人口減少、高齢化が進むであろうわが町を彦根市と行政機能の相互補完をして乗り切るうとするものである。今後ダム問題等も交渉

に取り上げること要望し賛成をする。

### 21年度補正

#### 一般会計

1億114万円追加  
主な支出

- 富之尾他道路改良工事 2700万円
- 子育て応援特別手当 720万円
- シカ剥ぎ被害対策 213万円
- 地域活性化基金積立 588万円
- 市街地活性化委託料 152万円
- (賛成10 反対1)

### 同意

下水道事業特別会計  
650万円追加  
(いずれも全員賛成)

教育委員会委員  
(任期は4年)

- 佐目 関河 信夫 氏(再)73歳
- 竹内 幸雄 氏(新)62歳
- (全員賛成)

### 条例改正

川相支所を出張所に變更する。  
(全員賛成)

### 契約

除雪ドーザー1台購入  
1554万円

小中学校教育用コンピ  
ューター91台購入  
4998万円

### 監査報告

代表監査委員

鈴木 善通

8月20、21、26日決算等の審査を実施。結果、適正に処理されているものと認められた。限られた財源や人的資源を有効に活用し、満足度の高い公共サービスを提供していくため、効率的な行政運営を推進する必要がある。自主財源の確保拡充に努め、住民福祉の増進のため行政運営が行なわれるよう期待する。

町の財政力は		県内26市町の中でわが町の財政状況は	
主な指数	20年度 19年度 (%)	順位	指数の説明
財政力指数	0.721 0.683	13位	財政力を測る指数で、1に近いほど財政力が強いことになる。
経常収支比率	87.2 82.6	3位	人件費、扶助費、公債費等の負担割合で、75～80%程度が標準的。高くなるほど財源に余裕がないことになる。
実質収支比率	5.7 4.4	6位	実質収支の額の適否を判断する指標で、3～5%程度が望ましい。
実質公債費比率	9.9 12.3	3位	公債費(借入金返済)による財政負担の程度を示すもの。
将来負担比率	29.7 51.9	4位	将来見込まれるすべての負債の負担比率。

中学校耐震補強改修工  
事費増額  
1572万円を増額し  
1億7700万円にする。  
(全員賛成)

## 委員会の審議報告

## 川相支所を出張所に サービスの低下は きたさない

### 総務

9月14日付託を受け  
た平成21年度一般・特別会計補正予算4件、平成20年度特別会計決算4件、条例4件、請負契約変更1件の計13件を審議し、可決、認定すべきものとした。

#### 総務課所管

問 川相支所は今後の利用が5割あると聞いて今後の体制は。  
答 本年10月1日から嘱託職員と臨時職員の2人体制で運営する。

問 所掌事務については、住民サービスの低下をきたさないように配慮する。  
答 庁舎関係のデジタルTVの入札は、

問 政権交代による、政策変更を見極め検討したい。  
答 策変更を見極め検討したい。

#### 教育委員会所管

問 中学校の耐震工事の追加契約1割アップは多すぎないか。  
答 当初教室ドアの取替えは24力所であったが、新しいドアと古いドアの鍵があわなかったため全ドアを取替えることにした。

問 土曜講座の現況は。  
答 あけぼのパーク多賀の会議室で3教室月3回午前中開講している。  
問 教育委員会への申込で  
中学1年生 10人  
中学2年生 4人  
中学3年生 27人  
合計 41人が受講中。

#### 環境生活課所管

問 下水道の未整備地区の合併浄化槽の普及率は。  
答 県の制度に乗せしめて普及を図っている。補助金が切れるまでに設置されるよう説明会を開いている。高齢者世帯が多い地区では普及率が低い。

#### 福祉保健課所管

問 デマンドタクシーの料金は一律にすべきだ。  
答 現行のバス料金、タクシー料金との問題もあり当分は3段階制でお願いする。

問 高齢者の生活状況・安否確認の状況は。  
答 町内の独居高齢者世帯の数は。  
問 生活状況・安否確認は引き続き継続していく。  
答 独居高齢者世帯は現住374世帯であり年々増加傾向にある。

## 閉会中の委員会報告

7月27日福祉保健課所管について報告を受け、福祉施設等の視察調査をした。

テーマは多賀町の高齢者の現状と課題について  
多賀町の平成21年の総人口は8157人で高齢化率は28%であり、年々上昇している。  
平成26年には30%を超えると予想されている。

#### 各施設の概要

- 多賀清流の里
- 犬上ハートフルセンター
- 特養老人ホーム
- シヨートステイ
- デイサービス
- グループホーム
- 犬上在宅介護支援センター
- 犬上3町の委託事業介護保険事業の相談援助をしている。



特別養護老人ホーム「多賀清流の里」



# 定住自立圏形成協定 彦根市との締結へ

## 産業建設

9月16日付託を受け、平成21年度一般・特別会計補正予算2件、平成20年度特別会計決算4件、彦根市と定住自立圏形成協定の計7件を審議し、可決、認定すべきものとした。

### 企画課所管

**問** 定住自立圏形成協定を結ぶと、財政の優遇措置があるというが、

**答** 先行実施団体ということで本町588万円、公共交通ネットワーク事業に1100万円など今後とも優遇される。

**問** 協定事項の追加・変更はできるのか。

**答** 変更する場合は関係部局と協議し彦根市等関係市町合意の上、議会の議決が必要となる。

### 建設課所管

**問** 柏葉団地から県道306号線の新線建設は、

**答** 柏葉団地からの要望であったが公安委員会との間でまとまり着工する。当分は新団地の工用道路として使用する。

**問** 水谷地区の道路改良工事は、地域振興策として県がするのか。

**答** 交通安全対策としてするもので地域振興策としてするものではない。

### 農林商工課所管

**問** 住宅リフォーム助成金は水谷地区の該当数は、

**答** 水谷地区で10件。

**問** 獣害対策の補助に家庭菜園は、

**答** 国・県の補助事業のためできない。

### 公営企業課所管

**問** 下水道台帳の整備は必要か。

**答** 完成図面での対応は、今後維持管理のため必要。

**問** 農業集落排水の水洗化率が低い対策は、

**答** 区長会での依頼、住宅リフォーム工事業者の紹介などおこなっている。

### 総務委員会との 連合審査会開催

9月16日、25日との2日間にかけて定住自立圏形成協定を締結する議案について多賀町にとって重要課題であるため総務、産業建設常任委員会が合同で連合審査会を開催し審査した。

## 閉会中の委員会報告

7月27日建設課所管、農林商工課所管の報告を受け、現地の視察調査をした。

### 建設課所管

**問** 県道甲良多賀線の信号機の設置は、

**答** 設置時期は明確でないが信号機は6基と聞いていた。場所は今回工事で指示されている。

**問** 町道小森池線の変更工事は、

**答** 当初は25億円であったが、工法変更で16億円、法線の変更で11億円必要。

**問** 梨ノ木地区より当道路の取付道路の要望は、

**答** 今年度予算で計画したが使途が外れているとし、改めて議会で審議を願いたい。

### 農林商工課所管

**問** 富之尾1号線の道路拡幅工事、300万円が900万円の3倍になっているが、

**答** 地元で高額な費用をかけ、地藏堂、石像等の移転をしているので一括発注で経費の削減を図り工事を工したい。

**問** 獣害対策の恒久柵工事20年度単価より3倍高いが、

**答** 支柱の間隔が3.0mを2.5mにした。また進入用の門扉も1.5倍としている。



完成が待たれる富之尾1号線

町政の  
ここが  
ぎきたい

# 一般質問

# 問

### 谷川議員

彦根市を中心とし愛荘町を含む1市4町での、定住自立圏構想が提起された。

合併をせずに独自の道を歩もうとしているのが町であり、今後の広域行政の必要性は理解をするが、あまりにも彦根市のペースで進められることに危惧を持つものである。

### 町長

人口が減少し、財政的にも厳しくなる中で、住民サービスを維持するには限界がある。広域的に取り組むことにより国の支援も受けられることができる。

彦根市が中心市宣言をすることが必要であった。1市4町の圏域全体が活性化されるものである。

## 新型インフルエンザ対応は 対策本部を設置

### 町長



### 大橋議員

国内では5月に初の感染が確認されて以来、県内でも62例の感染が出ている。

このインフルエンザに対する免疫性がなく、流行すれば燎原の火のように広がる恐れがある。町としての危機管理の対応と感染拡大を防止するための対策について町長に問う。

### 町長

町内幼保、小中学校の学級閉鎖基準、判断について教育長に問う。

### 大橋 富造 議員

新型インフルエンザ対策本部を設置し、患者発生時に各施設の休館対応や町が主催する行事の実施時の対応、対策など検討を重ねてきた。

予防対策のため、感染症予防対策用品を購入し、各施設や学校関係に配布した。

### 教育長

学級閉鎖は本町としての基準は、独自には設定せず、学校保健法第19条と県の基準に準じる。

## 定額給付金、子育て応援特別手当 の支給状況は 早期に手続が完了するよう努める

### 総務課長

### 大橋議員

9月末にて申請期限が終了するにあたり、未給付対象者は1桁台と思いがどうか。

きめ細かな情報を行い、未給付対象者に対するフォローについて、どのような対応をするのか総務課長に問う。

### 総務課長

対象者は住民基本台帳に記載された人、外国人登録原票の登録者が対象。15世帯は確認ができず、実質未申告者は21世帯である。これらの世帯への対応は個別に再度督促通知を行った。

民生委員等の協力を得て早期に手続が完了できるように努めている。子育て応援手当は、全世帯が申請済である。





小林議員

6月議会で災害の備蓄物資の整備を可決した。町にはもちろん必要と考える、集落単位でも要望の声がある。

小林 元嗣 議員

地域や集落単位に目を向けた計画であれば災害時の準備が整えられると考えるが、町としての検討をしてはどうか。地域で取り組んでもらえる集落には補助対策を考へてはどうか

総務課長

災害時において被害を最小限に食い止めることや、迅速な初動態勢は公的な援助、救援までの時間、まず各々の区民の人々の地域防災力にかかっている。

—町長—

今後、地域の防災力を高めていくため、防災体制を充実させ、集落全体で防災意識を高めてほしい。補助対策は検討している。

## 災害や事故に備えた 集落での対応は 集落の防災体制は必要

## 多賀町の交通対策は

### 乗り合いタクシーを運行

—企画課長—

小林議員

私は昨年9月定例会の一般質問で多賀町の交通対策で質問をした。

この10月からデマンドタクシーの運行予定であるが、運行準備は進んでいるのか。実際に運行可能なか聞きたい。

利用者が65歳以上と身障者であるなら、福祉目的から言っても町内運行料金は一律にすべきである。

企画課長

現在、住民の町内での移動手段は公共交通機関として、路線バスがある。

路線バスが運行していない集落の人にも利用してもらえよう、今回福祉施策の一環として、町内に乗り合いタクシーを運行する。

各停留所から多賀大社前駅までの距離を基準に町内を3つのエリアに分割して料金設定している。



いよいよ実施される「ふれ愛タクシー」

小林議員

知事は、8月までに水没地域の要望に答えるとの回答であったが、どうであったのか。

町としても責任を果たすべき時期に来ているのではないか。

## ダム水没地域の救済策は 責任の重さを感じている

—町長—

水没地域の人には町行政も何らかの救済の手を差し伸べるべきではないのか。

県との話し合いは水没地域の人ではなく町長がやるべきことである。

町として一日も早く地域の人が安心して生活ができるように救済策を考へるべきである。

町長

8月中には具体案を示し、芹谷地域振興計画を策定するとされていたが、具体策の提示、提案はない。

現在まで県との交渉は基本協定の調印者である3地区ダム対策委員会が窓口である。

水没地域の皆さんの実情、現状を直接伺い、行政としての責任の重さを誠実に受けとめなければならぬと考えている。

## 県道甲良多賀線

### 信号機の設置は

### 年度内設置を要望

—町長—



土田 一善 議員

町道土田多賀線は廃止しない。自動車は通行不可、歩行者は県道の横断歩道を通行となる。

町長

町道土田多賀線は廃止しない。

自動車は通行不可、歩行者は県道の横断歩道を通行となる。

土田(一)議員

国道306号線多賀信号より商工会方面へ歩道の設置は。

町長

中学校の通学道路でもあり関係機関と調整し県に要望していく。

土田(一)議員

町道土田多賀線は廃止せず持続を。

町長

全県的に信号機設置の要望は多く年度内設置にむけ全力で要望していく。

土田(一)議員  
町道久徳中川原線の改修は新しい住宅団地と関連はないのか、新しい団地の雨水対策は。  
建設課長  
町道久徳中川原線は平成20年度に再度両地区より要望されたものである。将来的には彦根地区への交通確保、災害時のアクセス道路として利用したい。

## 町税減収で大丈夫か 重点的・効率的な 予算配分を

—町長—

土田(一)議員

町税の大幅な減収の中身は、自主財源の比率が悪くなっている。政権交代で地方交付税の収入見込は、平成21年度事業に対し町民の要望にこたえられるのか。

町長

町税減収の主なもの法人町民税が1億4400万円減収した。

自主財源比率は4%下がりが59.4%である。

行政のさまざまな施策のうち、事業の重要度、緊急度など重点的・効率的に配分し町民の要望にこたえたい。

### インフルエンザ

### 対策は

土田(一)議員

インフルエンザの流行が大変心配されている。予期せぬ事態が発生した時の対策は。

### 子ども議会の 開催は

土田(一)議員

1年前に子ども議会の開催を要望したがまだ実施されていない、今後の予定は。

### 22年夏休み中に

教育長

平成22年度夏休み中に町内小中学生を対象に公募してスタートしたい。



交差点の信号機基礎工事中





川添議員

本年4月から6月まで3回にわたり、東大の堀教授を招き、門前町の活性化について講義を受け、滞留拠点施設の重要性について学んだ。

### 川添 武史 議員

町長

掘教授から今回までの講演のなかで魅力ある町づくりの秘訣を教えられた。

J A東びわこが協力的であるが、まだ具体的な事業内容まで詰めていない。今後J Aを初め、関係諸団体とも協議を重ね、滞留拠点施設を中心とした中心市街地の活性化に努めたい。

## 門前町の活性化事業は J A 東びわこと協議していく

—町長—

## 「高齢者憩いの場」整備状況は 年内完成をめざす

—町長—

川添議員

昨年度より、福祉保健課所管の駅前民間住宅の改修（老人交流センター）の野菜販売が計画され、すでに3000万円近い金額が予算化されている。

町長

この事業は明るく活力に満ちた高齢者社会を築くための事業である。国の交付金の内示が3カ月遅れることから当初予定より遅れる見込みだが年内に完成すると考えている。

デマンドタクシーの計画と同時進行で施行することであつたが、いまだに何も進んでいない状況である。今後の事業の進行は、

伝統工法で建てられているため、耐震性能など滋賀県立大学の講師を迎え、面格子など格子壁で補強実施をしたい。



完成が待たれる老人交流センター改修予定住宅

## 犬上川左岸の竹やぶの撤去を 今年度伐採を実施

—町長—

富永 勉 議員



り町に要望している犬上川左岸の竹やぶの撤去について質問する。

2000年4月、富之尾大橋が完成し、地元住民にとっても生活道路が整備されたことは大変喜んでいて。

数年来から竹やぶに覆われ、大変見通しが悪く交通安全上問題があるため、早急に撤去する必要があると考える。

町長 河川環境保全事業として、今年度伐採を実施する。

富永議員  
長年にわたり榑崎区よ



富之尾大橋手前の見通しの悪い竹やぶ

## 大型トラックの通行規制を 公安委員会に要望した

—町長—

機の設置や規制ができないものかと、住民の願いも強く、安全配慮はどうしておこなうのかと一般質問をした。

町長

信号機の設置については、機会あることに県公安委員会へ要望している。交通規制については、県公安委員会が地域の要望などを受け、実情を調査し実施している。

地域住民のご協力を得たうえで、パトロールや街頭指導、立て看板の設置などの啓発活動を実施。広く道路利用者の交通ルール・マナーの呼びかけを行っている。

富永議員

昨年6月定例会において、大滝地区において大型トラックが何台も走り抜けることが多く、地域には、お年寄りや子供もいることから何とか信号

## 獣害対策今後の取り組みは 関係集落と意見交換を

—農林商工課長—

北川 久二 議員



農林商工課長

芹川沿線の柵の設置延長は、現在測量によって月末にはほぼ設置の位置と実施延長が決定する。現在工事発注のための実施計画に入っている。10月中頃には工事発注をする予定である。

北川議員

現在、国が定めている「鳥獣による被害防止特別措置法」に基づき対策に取り組まれている。今年度計画の電気柵設置は芹川右岸地域とその周辺地域となっているが関係地域との調整と施工時期は、

来年度実施計画地域との協議は、来年度で計画が終了するが、山間地域に集落が点在し、被害も多く見受けられる。町政施策として今後の対策を問う。

## 防災訓練実施と災害時 応援協定は 協議が整い次第協定する

—町長—

北川議員

昨年9月定例会で防災への取り組みを質問し、防災訓練の必要性を提言した。

本年10月頃に県の総合

防災訓練が本町においても実施されるが、いつ、どこで、その内容は、町独自の取り組みと住民参加はあるのか、今後も継続して実施するのか。災害時の応援協定を積極的に進めるとい町長の答弁から、昨年9月以降の取り組みを問う。

町長

10月25日に主会場を荒神山公園として1市4町がそれぞれの地域で訓練を実施する。

町では、大滝小グラウンドを会場として町防災訓練を実施、既に関係機関との打ち合わせや、地元川相、藤瀬の住民の皆さんの参加もお願いしている。

応援協定では、災害時にはライフラインの破損が想定されることから、関連企業との調整や安全基準などの企業内部の協議が整い次第、協定ができるかと考えている。



榑崎地区に完成した恒久柵





本多重男 議員

# 学校・園のグランド芝生化は 実施は考えていない

—教育次長—

**本多議員**  
学校の校庭の芝生化については、今や全国各地に広がり盛んに取り組みが進められている。平成20年度までの全国累計では、約400校が実施をし、文部科学省においても芝生化の効果を認め、その整備推進を図っている。芝生化に伴う教育上の効果としては、芝生の弾力性がスポーツ活動に安全性と多様性をもたらす。環境教育の生きた教材としても活用できる。強風時における砂塵の飛散防止。降雨時における土砂の流出防止。夏季における照り返しや気温上昇の抑制などがある。

地域のスポーツ活動の活発化として、幼児から高齢者までのさまざまなスポーツを安全かつ快適に実施できることを掲げ

ている。  
町長の目指す環境・教育に熱心なまちづくりから言えば町においても、導入を進めるべきと考えるが。

**教育次長**  
校庭、園庭の芝生化はヒートアイランド現象の抑制や子供たちの屋外活動の促進とそれによる情

緒安定などの効果があり児童生徒や園児の屋外環境としては望ましいと考えている。  
鳥取市内の保育園でもデル的に実施されているが、学校グランドは面積も広く、芝生の維持管理体制に問題も多く、現在のところ実施は考えていない。



中央公民館に隣接するキリンビール社宅跡地

## 町有地の活用は 将来構想の中で考えていく

—総務課長—

**本多議員**  
現在町が所有しているキリンビール社宅跡地は、ここ数年は一部イベント時の駐車場や、粗大ゴミの集積場利用しているだけで、年間を通して、ほとんど利用されることなく放置されている。  
この土地を取得した当時は、具体的な目的があつて取得したと理解しているが、住民にとつても有効活用することが望まれている。  
今後の活用計画について問う。

今後の土地利用については、公共事業用地として活用していく方針に変わりはなく、第5次総合計画の中でも将来構想の論議の対象となるものである。

議会を傍聴して下さい  
12月の一般質問は  
9日予定です。

**総務課長**  
平成15年、キリンビールの社宅廃止に伴い、土地の買取りの意向打診があつた。  
検討の結果、中央公民館の隣接地であり、旧中学校跡地で、町民にとつ

# 給食実施時期はいつか 23年2学期から実施

—町長—



**山口議員**  
中学校給食の実施時期を明らかにすべきである。給食に家庭用炊飯器を使い、温かいご飯が食べられる炊飯給食の実施の考えは。

給食費の保護者負担の軽減や、安心・安全な食材を使った給食内容の充実のため学校給食にかかる諸経費の予算の増額を図れ。

**町長**  
給食実施時期は、平成23年の2学期から考えている。

山口久男 議員

**教育次長**

炊飯給食を実施している先進地を視察、検討したが、施設の建設、調理員の配置など課題が多い。食材費については、諸物価の高騰により2000円の値上げをし、保護者負担を4000円にした。食材を落さずおいしい給食を提供できる。人件費、水道光熱費など予算増額している。

## 霜ヶ原橋の重量規制を 規制は難しいが 補強工事を要望する

—建設課長—

**山口議員**  
霜ヶ原・小原間は、道幅が狭いため、大型ダンプとの事故の危険があり、通行規制を求めている。特に霜ヶ原橋は老朽化しており、砕石を積んだ大型ダンプの重量は40t、50tと思われる、重量に橋が耐えうるのか。重量制限はできないか。

**建設課長**  
県湖東土木事務所にお問い合わせたところ、当橋は昭和38年に建設し、橋長12m、設計荷重20tである。

荷重制限は難しいとの回答であるが、耐用年数が近づいており、橋の長寿命化計画に対する調査が予定されている。調査結果は来年3月ごろ出る予定であり、健全度の把握の上、必要に応じた耐震補強衝撃荷重対策工事等を実施してもらうよう県へ強く要望していく。

## 滞留拠点施設が 市街地活性化になるか 活性化につながる

—企画課長—

の活性化になるのか。すでに多賀大社駅のコミュニティ施設もあり、さらに「高齢者いきがい空間設備事業」で、駅前の古民家を借り、施設改修が進められる。交付金の事業だが、維持管理は町費が投入される。  
滞留拠点施設のハード中心の施策は、検討すべきだ。

**企画課長**  
中心市街地である門前町の商店街は、店主の高齢化や売上額の減少により、空き店舗も増加疲弊の一途をたどっている。これの打開策として東京大学の堀教授の講演を実施した。

**山口議員**  
商店街は、お年寄りが歩いて買い物ができる身近な存在であると同時に、青少年の教育と非行問題を解決することや防犯・防災にも大きな貢献をしている。  
現在計画している滞留拠点施設が、中心市街地

市街地の活性化は、滞留拠点施設を整備する必要があると説かれている。JA東びわこ多賀支店の協力を得て、同施設の改築と同時に敷地内に滞留拠点施設を設置するものである。



昭和38年に完成した霜ヶ原橋





コーヒーの香りをあなたに

味わいとくつろぎを  
あなたに

「コーヒー豆販売店/  
アイビーンズコーヒー」  
を開店してから早いもの  
で8年になるうとしてい  
ます。

多賀の地でコーヒー豆  
を販売する、というおよ  
そ想像がつかない計画で  
もあったことから、失敗  
してもチョット痛い目に  
あった、という程度で済  
むよう何もかも最小限に  
おさえたギリギリの設備

でのスタートでした。

年を追うごとに少しず  
つお店は進化してきまし  
たが「多賀の地から世界  
のトップオブトップコー  
ヒーを発信する」という  
店の基本理念だけはずつ  
と守り通しています。

長く続けているつもり  
でもまだまだ多賀の方に  
知られていないお店だと  
思います。

ぜひ気軽にお店のドア  
を開け、コーヒーの香り  
を味わいに来てください。

多賀 石田 美幸

# がんばってます!

ボランティアも  
また楽し!

私は13年前に、胃の手  
術を受けました。

術後主治医から術後管  
理と体力増強のため、歩  
くことを勧められました。

京都に勤めていたこと  
もあり、京都ウォーキン  
グ協会に入会し、全国各  
地で仲間と共にウォーキ  
ングを楽しんでいます。

田園風景のなかを楽し  
く歩いている中で、健康  
をとり戻せた感謝の気持  
ちを感じるようになりま

した。

お陰げさまの気持ちを、

少しでもお返ししたい  
と思つて、5年ほど前か  
ら、村の近くの道端の草

刈りをするようになり、  
今では生活の一部になり  
ました。

スクールガードも当初  
からやらせてもらつてい  
ます。

健康をとり戻せた感謝  
の気持ちで、これからも  
続けていきたいと思つて  
います。

敏満寺 山本 忠克



日々感謝の気持で

## 編集後記

今夏は50余年あま  
り続いた自由民主党  
が敗れ、民主党圧勝  
での政権交代が実現  
した。

多賀町も進出企業  
の景気悪化で町税の  
減収に頭をいたため  
いる状況である。

芹谷ダム、特に水  
没予定地域の生活再  
建および集団移転地  
問題。

彦根市を中心とし  
た周辺4町による定  
住自立圏協定など課  
題が山積している。

今後、これらの課  
題の解決に向けて取  
り組んでいきます。

議会広報誌も4人  
の委員で編集してお  
り、県下の広報誌ク  
リニックで高評価を  
得ることができた。

今後も皆さんに分  
りやすく読みやすい  
広報誌づくりを目指  
していきます。

川添 武史記